



• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 JAPAN

池清



繪本西遊記二編卷之八

池清

前章之下同

曰小汝僧三藏小向曰。師父今既まことに小陳氏兄弟をさけが百子意おもいより
戀こゝろすがりこゝろて上六冰こひ踏ふみの危あやを休あらはん。幾日いくびんには天晴凍化そらなづこころとこう待
船ふねを要むすめて河かわをうろうろと練ねりむ。三藏不告うげうノヨリ曰いへ。汝僧怎磨そめを
うる愚かちなるかち云いふや。陽春ようしんの空そらをぶ一日いちにち暖和あたたかて凍こおり解とけぬ
待まつ。今八月ようがつ小向おむかとく日ひ逃のがて冷氣れいき放はなす。如何いかんもう冰ひやの解
る爲ため行ゆべど、是これを行ゆて空そらへ羊載ようさいの光陰こういんを消けむ。而ひ一バ戒かいのみ
論ろんを安やすく馬うまより跳と下さ。汝なホロの用もちくすく休やすよ。彼かれ是これと長論ながろんせ
しより。老猪おじゆ水みず厚あつ薄すすをかんと呼ひく。那獸子なじゅ河かわ小行鉢くぎばと上
マカまかの菜な試こころう小只こぢつ銅どう鉄てつの堅かたが如て手响てひびきて瘡うずきハ大おほい小こよよす



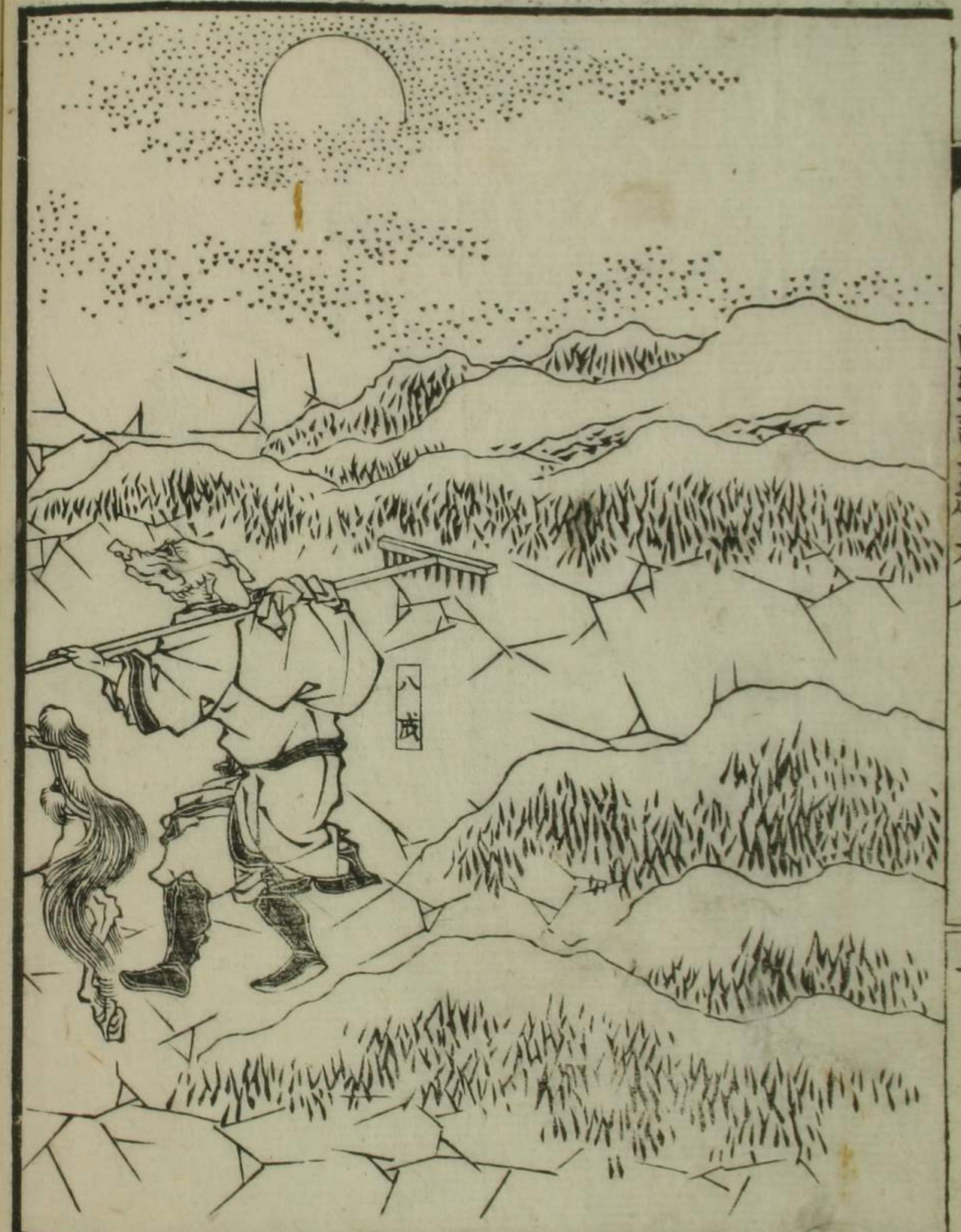
曰師又放心ゆりひより銅住々々。三藏十令歡喜相伴。陳氏家同。懇小別を告。陳清兄弟も今ハ止むる小約。乾糧。金銀。調一家師徒戎礼拜。畢。又一盤子小金銀を。又載。是ハす志。乃錢。出。三藏。手搖頭。毫戎も受。陳老種。小云。進。行者。總。一塊。を。二老。志。を。遂。小別。通天河。水。冰。踏。師徒。放心。進。程。小漸。晚方。及。那乾糧。ほ。又。水。上。輝。月星。光。力。小西。望。歩。行。只。忽。落。水底。水。裂。音。响。四衆。驚。た。慌。馬。落。原来。是。那。妖姪。水底。小。有。窺。居。馬蹄。响。走。神。通。弄。一。回。小。凍。用。行者。已。水。用。足。羊空。跳。登。巴。妖姪。早。三藏。馬。把。水。中。引。入。

捉。遙。小。水府。小。支。同。厲。声。呼。如何。姦。妹。那。里。在。快。唐僧。生。捕。勇。擒。妹。跳。出。不。敢。大。王。我。ホ。良。媒。合。争。逃。矣。然。姫。喜。曰。誠。小。賢。妹。の。良。策。因。小。与。我。已。小。唐僧。把。行。汝。拜。兄。妹。と。せ。し。と。約。セ。リ。大。丈。丈。一。言。猶。馬。追。と。や。蚤。案。桌。戎。擡。き。刀。磨。一。よ。這。和尚。蒸。心。戎。割。皮。剥。賢。妹。と。共。小。旦。受。用。一。壽。延。生。長。せ。ん。姦。婆。白。大。王。戎。同。吃。休。よ。他。ゲ。從。弟。木。かる。と。尋。き。願。ハ。兩。日。戎。待。他。木。が。來。ま。う。来。し。だ。六。女。許。石。画。不。奴。蓋。置。中。間。小。置。却。説。沙。僧。八。戒。八。湧。浪。漂。ひ。凍。員。浮。出行。者。半。空。中。あ。

又一一向々うハ師父何里小有や行者も更よ少すこ知しりなされと回轉のつづ
マ一海い小岸き小上あ人ありと早く陳清陳澄つげい小告ごられバ二老お驚あ
門外みづ小接さむけ三個さんかくゲ衣裳いりやうの滋ぬめり盛おほ々ひひ云いふうハ我ホグロ伐おき苦くる
止とめよせハ這またり急いそや三藏さんざう長老じようろう乃の乃のえ玉たまハ如何いかと尋たずね
る小三衆さんしゆ吏り不知しと答こたへ二老お涙なみだを流ながれ色いろを放はなつ大おほ小こ悲かなしみ
可哀かな々かな船ふなを送おくり進すすめとよせふ堅かた执つかひ從つづひ玉たますよ這ま
及およびうそうそと胸むねをあく歎なげたれば行者慰なぐさめ曰い二老おのミ耽うな憂うす
勿よき我師父しゆふ凶ひど死死たる有あキき決け一いつ那な靈感王れいこうおう所ところ爲あつく
タタれタバ我ホカカを盡つくし師父しゆふを救すくひ出だし他ほかを殺ころさん爲あつく長ながく這ま
乃の患かを除ぬく語ごきバ二老おも滿心歡喜まんじんかんし急いそた病びやくを調しらべトと進すすみ
ぞ三人飽あきき吃く各かく兵ひょう器きをより連つづ小水邊おのみへそ赴ひそたる

三藏有災沉水宝 觀音救難現真藍

却統三個さんかくハ河邊かわべ小到いた行者先ま曰汝な兩個ふたかく商議しょうぎと維まと入水中いりすいぢゆ
下さりと動止どうしを刃の届たどきられハ戒くわい曰我ホ兩個ふたかく行ゆも好手よて限かぎも出
だだす。願ねがくハ師兄しゆきゆう水中すいぢゆ窺くわいひきひきれ行者ゆき曰い那山なさん
裡さり妖よう怪けい全ぜんく汝なホホが力を勞なぐれなぐれ。水中すいぢゆの子こハ我們われわれ
甚ひど不熟ふじゆ濁なづたり。汝等な等なハ原はら來くわ慣水なじみずふ達たつせせ因いんく汝等な等な小水こみず
へ下さらうさを要むる所以ゆゑなり。汝僧な僧そう小弟こだい水中すいぢゆ往くわく易やすく。但ただし
只水底ただみづの事こと何なとう有あし是ことをちこす。三人さん一いっ身み往くわく易やすく。但ただし
往くわく馱著くわく捉つかられ者もの先ま妖よう怪けいの巣穴すのあなへ至いた。師父しゆふを尋たずねよ。約あく
定じやくも如何いか。行者ゆき賢弟けんだいづりづり處ところ有あ理り。馱著くわく馱著くわく。但ただし
く水底ただみづ小まこ下さり。行ゆ百余里より。那な歎なげ子こ行者ゆきを追おと捉つかく



うれど。行者早く一根の毫毛を拔く。斐！く假り姿とがて置
本身ハ一個の猪風子となり。ハ戒が耳躲の裏小緊く貯着尾と
王ハ戒案小違く沙僧小對ひ所経他ふ莫魯我汝と往く師父
を尋し。汝僧が曰。不好他水性を不知とソトモ我亦小比くハ乖巧成
る勝手アリ。ソト他きらうな乙も。我汝と往く益をもと。行
者八戒が耳躲の裡ふ右く忍み高く呼ノリタクハ悟淨老孫這ふ
あり。沙僧驚たハ戒を喝く曰。汝猥アシ師兄を捉へとせー左他形
を隠せり。今色アシ成はくも像を见よとも息へ好ようあふ。ハ
戒慌て泥の裡小跪下く曰。哥々我過てり願くも師又を救ひ岸
かよすは陪礼せん。縉本身を犯せよ。行者曰汝亦憂るテ可き我
汝おが身上小在。只速小水底ふ下き。兩人是を突く又進く行て百

余里忽ち一壁の樓臺あり。臺上の牌位を正すハ水龕と第と云。四個
の大字あり。汝僧ク曰。這壁廟是妖精の住所アリ。我個二入門ふ
上マテ戦ひを索ラム。行者安て白。悟淨那門の裏外水ありや。沙僧
曰。更小水アリ。行者心を安んじ。水ナシバ済小左右小篠を居よと
ハ戒ク耳躲の裡を出。身を搖一曳く長脚の般婆えいばへ跳く。
那門の裏小へ瞬眼小。那般婆上面小坐く。多少の水族みずけいも兩邊
小擺列班衣般婆傍小坐。唐僧を吃つて商議を。行者より其
辺火看同ド。更小三藏の在ざれ。普同同所。忽ち一個の大肚の
般婆きたり。往ふ西の廊下小立定。行者頓て他グ面前小跳至向むかく
大王今般と那唐僧を吃りんと簾れんを拂は。唐僧ハ今那里小在や
大肚の般婆言ひて曰。唐僧前ふ大王が降雪結冰の討ふあう提

て後宮の石画があり。行者是成程と徑小氣す。後宮小到まされ
る。果また一個の石画あり。只安三藏石画裡小あり。嚶々と哭声あり
行者耳を傾け再度き。三藏悲愁の裡か。一声の恨哉観音曰。我
娘さう胎腹を出で。若子の災害ふ遭。近くハ黒河が沈と。先
せんと。今又水解ゆ。逢く性命已ふ黄泉小飯せんとす。今ハ徒弟ホ
きまく。救す。能ひ。懲。遂に佛を拜。徑を求。故園へ
飯を。行はと。声を放。哭され。行者忍不住。曰。師又水の事と
恨。勿。既小經小続。土乃五行之母。水乃五行之原と
土方无。萬物生。せず。水を。萬物長。む。能。老孫。きま
上六墨慮。一。二藏。這言を。白。後弟早。我を。放。行者急。不
同頭。門外ふり。本相を現。八戒沙僧を。叫。曰。那妖姪師

又を。騙了。石画小捉へ。汝兩人早。鬪戦よ。老孫。先水面。出
去。汝。亦。他を。捉。其。能。併敗。他を。引。水中を。よ。よ
我。他を。捉。し。と。分付。躬。避水の缺を。結。河中を。鑽出。岸。辺
少停。立。と。事。其。音信を。待。八戒。汝僧を。妖姪。門前。ふ。到。声を
厲。曰。濬姪。早。我。師。又。送。出。せ。と。門裡。小。妖。急。た。今。斯
と。告。汝。女。姪。が。曰。是。定。耶。濬和尚。來。う。か。ん。と。早。兵。具。を
披。た。掛。手。小。根。九。辯。赤。鉄。槌。を。執。と。門。を。八。文。字。小。用。各。突
然。と。出。き。と。喧。嚷。や。八。戒。大。口。喝。と。曰。汝。濬和尚。何。乃。爲。小。う。這
小。到。多く。喧。嚷。や。八。戒。大。口。喝。と。曰。汝。這。事。不。充。八。戒。物。前。後。戒。
頂。嘴。か。尚。不。知。來。つ。向。我。是。大。唐。聖。僧。の。徒。弟。なり
汝。虛。頭。を。弄。ば。假。ふ。靈。感。大。王。と。あ。り。か。づ。陳。家。の。庄。ふ。あり。

行者拜觀音
需解師
又難



菩丁

く水面伏看居いみ。只看河邊えの波浪翻騰たなびかせん喊けん。声天地さきに號き。同まりあべす。八戒汝僧おのり。國こつ小敵ひき伏寄ふよせ。跳と岸は小上あがて妖姪ようひを。未了めりと欺あざく。妖姪ようひ大おほい憤いき。水面みず小跳ちよづづる。行者ぎょうしゃ。又また大喝だき。声こゑ曰いへ。汝淫姪ゆういんひ我師父がしふを困きこ。一ちぬ速そく。小這こな。一棍いんを吃く。鉄棒てつぱうを輪わ。サマく。されば。妖精ようじやう心こころ。と。銅槌どうちを。り。急架きゅうか。戦たたかい。三合さんごう。不擋ふとう。那妖广敵おほきのぞ。同頭ひとかし。水中みなか。敗退ひだい。乞ま。行者ぎょうしゃ。今いま。途方とほう。高岸たかし。小回轉ひくわん。八戒汝僧おのり。曰いへ。兄弟いもうと。尋さぐ。苦くる。せせ。多おお。也よ。妖姪ようひ早はやく逃と去こ。捉と。能う。半はん。今いま。一度いちど。往むか。戰たたか。素す。他かれ。引ひく。出でき。され。我わ。決け。く。他かれ。捉と。兩り個こ。是い。小順こうじゆ。再なび。水みず中なか。赴おも。却かく。統とう。那な。妖よう精じやう。行ぎょう者しゃ。小敗績こひきせき。同ひと坂さか。紅べに。衆じゆ。妖宮ようぐう。中なか。接せつ。到いた。中なか。細ほそ。波なみ。近ちか。上前まへ。向むか。大王だいおう。那な。兩り人ひと。和尚おうそう。赴おも。那な方ほう。

行者拜觀音
需鮮師
父難



水面妖看居。只看河邊。波浪翻騰。喊。天。地。號。
間。也。有。八。戒。沙。僧。來。國。小。敵。妖。到。寄。跳。岸。小。上。至。妖。姪。至。
麾。下。來。了。來。了。欺。妖。姪。大。憤。水。面。小。跳。行。者。
又。大。喝。聲。曰。汝。淫。姪。我。師。父。又。困。一。速。小。這。一。棍。吃。
鐵。棒。輪。サ。れ。ば。妖。精。心。急。架。つ。
戰。三。合。不。打。小。那。妖。广。敵。同。頭。水。中。敗。退。き。
る。行。者。今。只。經。方。な。高。岸。小。回。轉。八。戒。沙。僧。小。曰。兄。弟。又。く。寺。
苦。せ。ま。れ。ど。妖。姪。早。逃。去。捉。能。ば。今。度。往。戦。素。
他。を。引。出。き。れ。我。決。他。を。捉。兩。個。是。小。順。再。び。水。中。小。
赴。た。却。絶。那。妖。精。八。戒。沙。僧。小。敗。績。同。坂。見。衆。妖。宮。中。接。
到。中。少。無。渡。近。上。前。向。大。王。那。兩。人。和尚。到。那。方。

小到王宮。那妖王答曰。我那和尚未發。趕到岸。小到。忽又一個和尚。有條一條的鐵棒。輪來打。我他一戰。銅櫃。以架住。他捧力。動重量。三合。三合。敗回。敗回。大婆大。驚。大王那和尚是何。貌。紀。妖。白。我。能。經。毛臉雷公。大眼金睛。和尚。語。小。妖。裡。寒。禁。進。出。曰。六王。小。性。全。再。戰。生。能。下。小。的。當年。東洋大海。小。老。壺。王。天。宮。鬧。參。天。大。聖。者。今。佛。教。小。皈。依。唐僧。保。西。天。小。到。經。要。名。改。孫悟空。他。神。通。變。化。側。向。處。降。妖。捉。他。和尚。就。孫行者。人。到。宇。

那妖王戰々。競。色。失。處。小。忽。門。裏。乃。小。姪。走。前。乃。二。和尚。又。門。外。小。戰。戰。之。索。報。汝。女。姪。群。妖。小。令。汝。緊。門。鎖。一。如何。喧。嚷。門。用。子。分。付。汝。小。妖。一。石。頭。泥。塊。把。門。塞。斯。八。戒。汝。僧。女。姪。出。再。勝。負。決。叫。一人。出。戰。的。八。戒。忍。之。鉢。掣。扇。破。裏。小。會。再。哥。計。較。也。兩。個。到。東。岸。小。行。者。小。對。阿。斯。告。施。行。者。如此。無。方。可。治。汝。兩。個。此。不。待。我。普。陀。巖。小。菩。薩。小。計。策。向。急。小。動。斗。雲。小。駕。一年。因。南。海。小。至。雲。下。普。陀。巖。小。到。衆。神。

迎々曰。菩薩今早洞を出でひそく。独身竹林の内ふへく觀現。大聖今日きもあらん。我本小分付茲小百く窺ぐ。汝翠巖の前ふ坐。序固行。菩薩自らありゆべ。行者其言ふ隨へ坐。待ふ。邪善賊童子出来。行者戎々と進で礼を施し。孫大聖前ふ蒙盛意。幸ふ菩薩小奉仕。左右を不離甚ぶ。善慈を蒙き。行者紅孩兒を笑ふ。曰。汝前小魔行ふ心を逐せ。今正果ふ皈。老孫が好人を知つ。行者久く菩薩の未みハまよ心焦燥。諸神乃制とふるむ。且と竹林へ走り令く。菩薩ハ獨紫竹の林小坐。纓絡を戴う。藍袍をす。掛玉。玉手小鋼刀をもつ。竹皮を削居。行者近く進む志心朝禮。て曰。今師又通天河。妖姪

為小捉られ性命を断まし。願リハ慈を垂。被ひゆ。菩薩の宣く。汝外面ふ退ぬ出。我往を待行者領掌。竹林をさり出。諸神小向。曰。菩薩今日蓮臺小坐せず。妝飾も穿玉ハと竹林ふへ。竹皮を削。甚ふ。緒天曰。我本曾。其故を不知。只我本來此所ふ大聖を接候。深た道理ある。行者待。不。宣く。如何行者我と汝と俱小行。唐僧を救ひ。行者跪下。曰。弟子敢。催促す。善薩手ばく。一個の竹籃兒を提。出き。菩薩宣。只此修行。祥雲を放つ。空ふ。大聖も。勵斗雲。小駕。項刻。同小通天河小至る。戒汝僧觀音を。禮拜。菩薩即ち絲縷をり。籃兒を結。絲を

提了雲端小立出河中。小施八口念頌。七遍。到藍兒。引揚。只者那藍兒。小灼。一尾。金魚。有。斬眼動鱗。菩薩行者。呼。快。水中小下。汝。師父。救。分付。行者。曰。不曾。妖怪。拿。如何。師父。其故。拜。菩薩。宣。這藍兒。裡。即。妖怪。行者。其故。拜。又。問。這。更。何。妖。怪。小。菩薩。曰。這。我。蓮池。裡。小。狼。巨。金。龜。日。小。頭。紂。經。頤。神通。修成。那一柄。九。辨。銅。鉗。乃。是。一根。赤。剛。蓮。花。他。運。煉。小。依。兵。器。或。日。海。潮。泛。漲。池。出。這。河。小。來。成。稽。妖王。汝。師父。害。故。小。梳。妝。也。半。個。竹。藍。兒。織。他。摘。行者。哭。感。歎。已。小。如。此。片。肉。待。我。陳。

家の衆人を呼。菩薩の金面を拜。せ。一。ふ。思を苗。二。小
を。妖。怪。双。治。を。綻。菩薩。點。頭。汝。早。徃。呼。來
きて。指。揮。行者。雲。跳。下。陳氏。家。走。行。涉。水。
一。壯。の。光。幼。男。女。大。悦。ひ。足。空。小。弛。走。泥。上。水。中。
云。半。跪。下。掌。合。せ。礼。拜。其。中。ゆ。も。図。画。者。あり。影。神。模
写。ま。世。小。傳。す。魚。藍。觀。音。像。是。か。斯。菩薩。南海。小
同。さ。ハ。戒。沙。僧。水。路。開。那。水。龜。第。小。到。さ。か。か。那
裏。邊。水。姓。臭。糞。悉。爛。死。せ。り。兩。個。連。小。後。官。ふ。今。石。画。を
揭。開。唐。僧。を。砍。波。濤。出。岸。小。登。至。か。陳。清。兄。弟。頭。を
叩。か。地。小。拜。伏。行。者。昆。弟。小。對。曰。汝。未。又。這。里。今。より。祭。



を不用トモ那大王の除報（れをとも）再び災（まし）かゝる。汝其恩（おん）をすり付（つ）快（わら）一隻の船を索（さぐ）我ホを送（おもて）河を過（こせ）よ。陳清兄弟大ら小悦（えつ）ひく曰願（いの）くハ新（あら）小船を送（おもて）送（おもて）ましん。衆客是處（そこなへ）我ハ挽（ひ）を買（く）我ハ篙（こう）櫓（とう）を無せし。或水手を雇（と）人（ひと）勇（いさ）所（ところ）急聽（きみち）河中小声有（ある）。大聖船を送（おもて）せし人家の財物を費（う）。我唐僧師徒を送（おもて）河を過（こせ）と呼衆入是を度（とほ）心驚（きよろく）矣。我唐僧師徒を送（おもて）河を過（こせ）と呼衆入是を度（とほ）心驚（きよろく）矣。我唐僧師徒を送（おもて）河を過（こせ）と呼衆入是を度（とほ）心驚（きよろく）矣。我汝（わ）如犯（あはれ）孽（やく）出是粉蓋（ふくあわ）頬頭（ほくとう）老龜行者（ろうき）が面（おもて）を以て曰快（わら）す。且迎著（むかひ）一棍（いん）下（さ）我殺（おと）老龜行者（ろうき）が面（おもて）を以て曰我汝（わ）恩澤（おんたく）を感（う）ド情愿（じょうがん）唐僧師徒駄駄（だいだい）河を渡（わた）しとぞ。小怎（ちうそ）却（かく）了我を歩（ある）と（と）。行者幻を和（わ）げく曰我汝（わ）小對（こたう）

甚（ひ）思惠（おもて）あらや。老龜洞を流（なが）し曰大聖（だいせい）いよ。知（し）ひハド這水底（なまこ）小ある所（ところ）水龜（すいき）之第（だい）原我的（わがもの）が住宅（じざく）より歴代祖上（りきだいそじょう）より傳流（でんりゅう）。小那妖姪（ようひめ）九年前（まえ）海嘯波翻（かいとうはふん）因潮頭（しおづか）を打（うつ）。這所小龜（こうぎ）先頑（わらわら）を逞（うらわ）と我と爭鬭（せうとう）。我運拙（うん拙）く他小傷（けずり）られ我多サ（た）兒女眷族（けんぞく）悉（悉）く鬪（とう）ひ敗（ひき）莫窓穴残（まくあなざん）。他小奪（だつ）られ然（ぜん）小今大聖（だいせい）這日（にち）き（き）了善菩薩（ぜんぼさつ）を結（むす）く妖精（ようせい）を取（と）りまふより第宅（だいじやく）我小回（まわ）り我今舊舍（きゅうしやく）み住（す）るを以（もと）大恩丘山（だいおんきゅうさん）。且我ホが歡喜（うき）ノ（ノ）小あらを達莊（たつじょう）人（ひと）も年々（まつりまつり）祭賽小牲（さいさいこぶつ）を合掌（あく掌）。免（めん）身（みみ）ハ矣。小一舉兩得（いっしゆりょうとく）。恩惠（おんけい）と説教（せつきょう）。行者暗（ひそか）ふ悦（えつ）ひ鉄棒（てつぱう）を取（と）ら沙（さ）今（いま）所（ところ）真（まこと）情（じょう）。朝天（あらへん）賭咒（ちゆう）をとてよ。老龜是（じょく）朱（しゆ）紅口（こうく）と張天（ぱうてん）。小朝（あらへん）發誓（はいせき）。我唐僧（とうそう）を送（おもて）此通天河を過（こせ）。且ハ身化（みんげ）て

血水とたゞしと。茲ふ於て行者、疑惑を晴し。安快く上表々々と云
えり。老龜身を一度縋り。河岸に爬上る。衆人近署て是を见る。小
圓四丈。大約右に一個の大白蓋の老龜なり。行者三藏小むひ
師又他が甲ふ棄て。這河を渡り。三藏曰。徒弟も厚手を水に上
を行き。尚遭厄とせら。况や這龜背小棄て。恐く。我
使を遣じ。老龜叟曰。長老心を教へ。妖怪が偽水不比。我
上遙小穩をも。行者が曰。師又平素小凡衆生の會観。小の羅語
をつまむ。我滅らむ。老龜已小天ふ誓。何ぞ難をや。八戒沙僧
快く馬を引き。師又と俱ふ。他が背上へ棄。三藏漸く心放
き。陳家の老幼男女とも厚く謝り。拜送する。行者も馬
を曳く。白元龜が蓋の上。小無唐僧を續く。馬の頭頂の左小竈より

沙僧。右小竈八戒。馬の後小竈。行者馬の前小竈。老元龜水中
小這入足を用ひ。流水を踏て。平地を行ひ。東岸の衆人を見
哉。又香を焚。叩頭。南无阿弥陀佛と念。礼歎。望玉。小
も形影見えどなり。行ハ各家小回り去れ。斯ニ三藏。師弟。白
龜。小駕。暑行ふ。早た。疾風。八百里の急流を繞。一日
行。終小通天河。西岸。小著ぬ。三藏。小岸。小登り。謝り。曰。老
龜汝を累とす。甚。されば。贈る。死物もなし。我經成。同
を。必ず。心を厚く。恩を謝せ。老龜曰。師又。賜謝を受。心
を。小的。うけ。是。西天の佛祖。ハ滅。生。く。生。く。も。が
く能。過去。未來。の。を。知。と。や。我。這。河。小。有。く。修行。す。
一千三百余年。然と。生。延。壽。身。も。狂。人の。語。を。も。會観。と。只



恨うハ畜生道ウ本壳を脱ぐ。萬望長老西天ふ到まつハ
我らう這畜生道を解脱。一個の人身となりげんや只此す
佛祖小向よりむづりへと願ひたる。三藏點頭我汝が爲ふこれ
を同むん。同我同ふ成すとく。成空。老龜歡喜て遂に水中ふ
沈み去。三藏師徒ハ是より大地を一直小西を望でて急走する。

情舌性縱因愛慾

神昏心動遇魔頭

始綱三藏師徒四個西小徒ひ行々又嚴冬の時節かゝる無
名小前路小一座の大山あり。路窄高。一人馬行脇む三
藏轄繩を住め。後弟を呼べ。曰。汝木前面の山高をを又よ恐
ら。虎狼の害ある。行者曰。師父心を放じ。我木兄弟二天
意を合せ。師を保護。何ぞ虎狼を怕き。三藏安々縛スル。

放心一雪を冒ぐ。戰漸々進。行巔峯峻嶺を過ぐ。遠く
見ゆる。只看山の凹なる中。小樓臺高。簷房舍清幽。有
三藏曰。斯。是人家寺院あり。成庵。一派木道を急がす。些
齋飯を緒創。手技。再びまれよ。行者坐て。耽と暗省。小那壁扇
兎雲隱。惡氣絶。行者頭を同ぐ。三藏に向ひ。師
父。狼小徑。是好所。あらず。三藏曰。樓臺房舍ある
を。是好所。あらず。何故ぞ。行者曰。西方路上多く
妖怪あり。能く莊宅を點化せ。とど禍ある。老猿那壁扇。氣
色を。是。如。妖。那。果。穴。是。三藏曰。已。斯。是。
かれ。我。美。小。創。今。是。奈。何。せ。行者曰。師父。創。玉。且。
馬を下ぐ。此處小坐。老猿。他。不。去。行。往。待。三藏。

是小隨ひ馬を下きて沙僧ハ包みを解く。鐵鉢を取出一。行者
小遊と。行者是を繕取三藏小向て曰。師又這所を去ふり吉
ハ女く凶多く。断乎身を動くまふ。我假小安身の法を布し
と。金箍棒をもとへ平地小週回と一筋の圈子を画く。唐僧と
中間小坐せしら八戒沙僧を左右小侍せ。師徒小對ひ。我画と
圓相うちこそ銅牆鐵壁小比べ。ある虎狼六鬼なりとも敢て近
着す。能ハド。か。圈外小走り出る内と忽ち災難あり。小纏け
きだ。師徒其劔小順ひ端盆をもとへ坐下。行者ハ雲頭小上り
人家を尋ね。身を縛んと南小向ひ能行。只着古樹天小参り
一起の莊舍有名ハ急ぎだ雲を接下へ。尼小柴の扉を開た。個の
老者黎の杖を抱く出まう。天を仰がヌ。獨言小曰。毎小の風

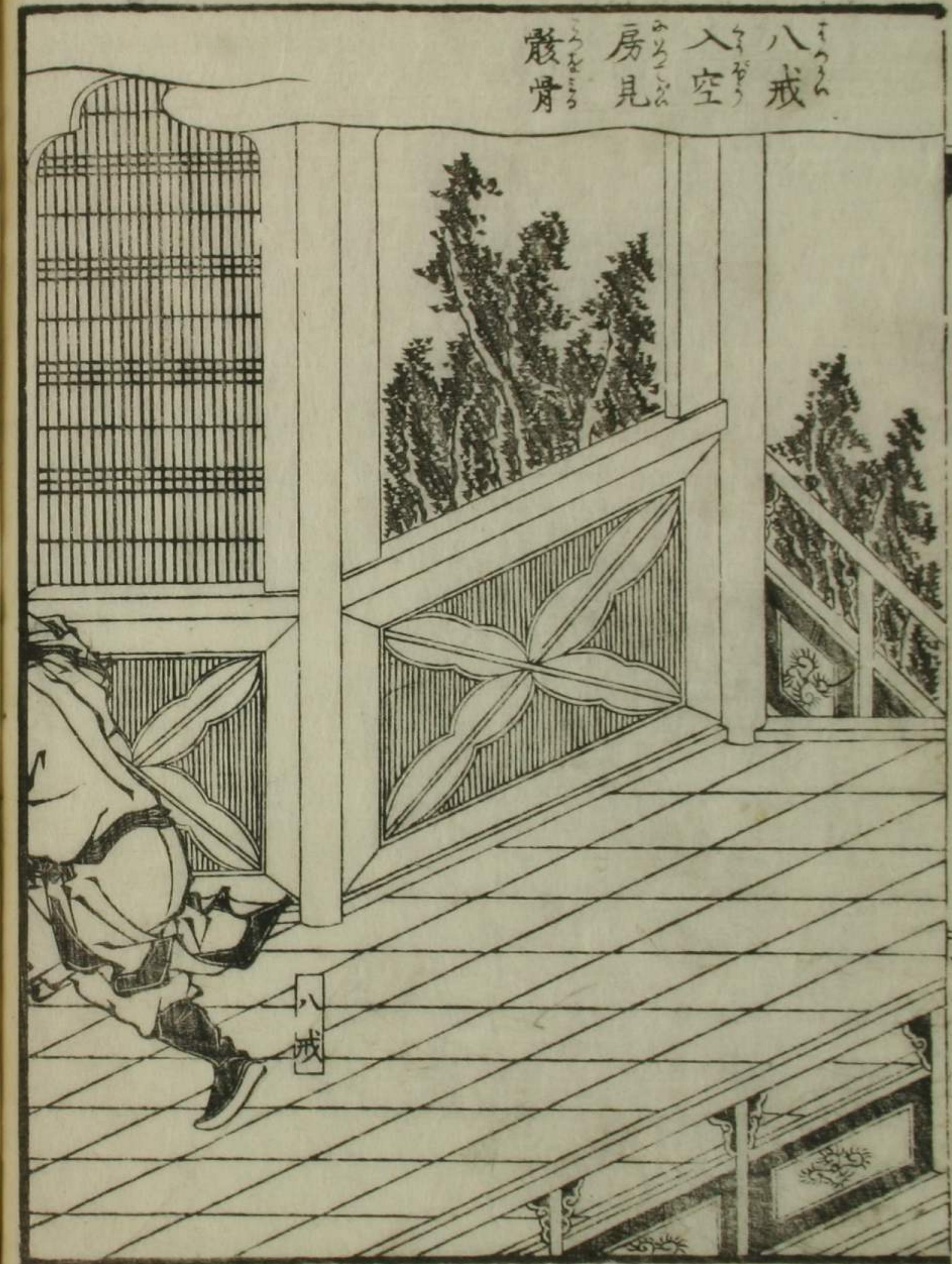
起より明日必至晴天かしんと。さうさう後辺より一頭の狗兒来
アリ。行者を望着。汪々と乱吠ぬ。老者頭を同らして行者が鉢盆と
捧く。多見何人か。やと尋ね。行者答へ曰。我ハ是東土大唐の者
す。小欽差を奉西天小往。佛を拜。經を求る。然る。我師又
今飢小臨。故小特尊府小きり。身を募化けたり。語られ
老者歎へ曰。長老是錯。西天小往ハ。這真北小大路あり。我此
里小きれ八千里の違あり。早く同へ大路を行。教。行者
笑へ曰。我師又已小北。大路小あり。我身を積て同へ。待。那
老者憫。面色ゆき。這和尚。多く。乱咳をり。勿。沙僧師又大
路小有。餓。汝が這千里の遠を。ふき。身を積。を積。を待。し
お七日を。も。消え。坐。坐。ハ。師又何。そ。餓。疲。もし。や。行者又笑へ曰

凡人六七日をも過むる。我和尚一盞の茶の冷ざる間ふよく回る。一
をかと今飯を續く。師又の午飯を供へんとすと云ふ。老者丈子
怕も。這和尚堅て鬼をも。裏不向ひ逃へん。手行者扯住く
曰。施主怕るを休く。竺の事を惠めよ。老者曰さうとてハ不方便
なり。我家已ふ六七十人。纏ふ三舛の糸を眸と下鍋と魚にまき不
煮熟別處小行く續よ。行者曰古糸織みり三家小走る。一家小坐
うふ不如と。我這小在く飯の熟る爲仕し。老者行者衣ふ經乃仕
さうを怒り。黎杖を上く丁々とあつ十八下。行者自若と。吏小
怕まず笑く。曰老官兒杖の數を紀ほれ。一杖擎ぞ一舛の糸を續し
二杖擎。二舛の糸を續し。老者是言をばく急小杖を丟く。跑進
去門を關く。有鬼有鬼と嘆氣。一家の男女大づ不慌て。前後の

門を開き。行者北駄を下く。心中かねくら。這老賊糸を眸と下鍋
とくら。不知是虚う実う。我往く看人とも隠身の法をりく。忍て
厨中ふへて刀をふ。果然鍋の裏小飯氣騰き。眞氣を暗小蓋と
把く。飯を鉢盆小盛雲小跳上つて回りき。是より先三藏師徒ら
圓相うち坐。一筋多回転。行者久く回りき。身を
ぐう望く。曰。這猴子那里か徃く化身をも。ハ戒。笑く。曰。他那里か
要子か行。我ホを一々北坐牢ふ在。三藏曰。怎麼。是と坐
牢とりや。ハ戒。笑く。師又知。古人に地ふ画と牢とす。他四馬
媼戯ふ。這圈子を画を。鐵壁銅牆と。今ゆ。虎狼小吃。之と
きくも如何ぞ。擅13人。只我ホを一々居た。虎狼小吃。之とす
ある。三藏曰。甚く汝鳥の處置あり。ハ戒。曰。自此間不在ても。不減

八戒入空房見骸骨

八戒



風もなくて不可避冷り老猪（ちきみ）言ふ依（よ）て路（みち）小着（こうぞう）西（にし）ふ行（ゆく）其
を粥馬（ゆま）媪（おとめ）每（まい）を結（むす）く回（まわ）ふ會（あ）今ア茲（ハチ）小坐（すわ）ト一會（ひとあい）せぞ脚冷
く疾（やまい）を發（はら）セシ三藏遂（つい）小獸子（こうじ）言ふ述（のべ）ハまれ（まわ）每（まい）小圈（くわい）外（ほか）リ出（で）
路（みち）小順（こうじゅん）ひ歩行（ある）小一回（いつまわ）小一回（いつまわ）樓閣（ろうかく）所（ところ）到（いたる）先來是（さるめ）坐北
向南（むかひ）家（いえ）外（ほか）多（た）多（た）移牆（いわき）一座（いつざわ）門樓（もんろう）都（すべ）五色（ごしき）小妝的
ヨアリ其門（そのもん）半（はん）巴掩（ひそ）半（はん）開（ひら）八戒自（じ）小言（こと）所（ところ）ハ公侯（こうこう）宅（たく）と覽
ム。門外（ほか）吏（りつ）小人（こじん）大裏面（おおうめん）小在（おなま）烘大（ひがい）至（いた）人（ひと）師又茲（ハチ）小待（まつ）我裏（うち）
入（い）子細（こま）看些（み）每（まい）を結（むす）三藏自（じ）汝（なれ）を慎（つつ）よ猥（わい）小人家
小冲撞（ちゆうそう）予（よ）自（じ）八戒自（じ）我禪門（せぜんもん）不（せぬ）飯（めし）一（いつ）より預（よ）禮數（れいじゆ）を做（つく）那粥
馬媪（ゆまおとめ）小比（ひ）一（いつ）より予（よ）自（じ）而（より）之（の）銚（めい）を拿（な）腰（こし）小叔（おとう）青布（せいふ）直裰（じゆだつ）整
ヘまく門裡（もんぢゆ）小入（いり）只（ただ）看三間（さんまん）大廳（だいへい）有（あり）簾櫳（れんりゆう）高（たか）けり静（しづか）

と全（まつ）て人の居（ゐ）居（ゐ）か（か）れば屏門（びょうもん）を拭（ぬぐ）り進（すす）て行（ゆく）又（また）一個（いつぱう）の穿
堂（いたん）あり。堂のほ小一坐（さうざつ）大樓（だいろう）あり。樓上（ろうじょう）の牕格半開（はんあい）一頂（いつてう）の黃綾（きやうりやう）の
帳幔（ちやうもん）を乞（こね）て。獸子（こうじ）独言（ひとりごと）小曰（いわ）汝（なれ）好舍（すき）小人（ひと）を死（死）を怪（あわ）一念定
タゞく寒（さむ）を怕（ひ）内房（ないぼう）小潛（ひそ）むか（く）と内外（ないわい）を憚（あひ）らず歩ミ（ある）て樓
上（じょう）慢帳（ばんちやう）を披開（ひかい）小裏（うち）象牙（ぞうげ）の牀（とこ）あり。牀（とこ）上（じょう）小一堆（いつぱう）の骸
骨（ほね）あり。恰（あつ）も巴斗（ばとう）の大さふ（だいさふ）腿骨（いたね）長（なが）四五尺（しやく）りや右筋（うすじ）左筋（さすじ）由
八戒俄（おれ）小衣（あい）を催（さい）。洞（くつ）を率（さす）那骷體（なくたい）小向（むか）曰不知汝（なれ）是（は）邪（や）リ
代（よ）邪（や）朝（あさ）小仕（つか）元師（げんし）の體（たい）。サリ（さり）小是國忠（こくちゆう）の爲（ため）小身命（みみめい）と拋（は）ち
王道（おうどう）を興（おこ）。霸業（ばぎょう）を定（さだ）。人（ひと）小英雄豪傑（ひょうぎょう）の魂（たま）ハ今何處
小飯（こめし）もよと已（おの）独合（どくあ）点（てん）。口（くち）官（くわん）小衣（あい）阿弥陀佛（あみだぶつ）くと念（ねん）す。小
帳幔（ちやうもん）透間（とうまん）より燈（とう）の光（ひかり）れを扱（あつ）。侍奉香花（しやうか）の人（ひと）有（あり）もんと

持告々夕々小燈と夕々一八窗扇より透月影ナリ其壁廻ふ一張
の桌子ありと桌子ノ上小幾件ノ錦綉綿衣ありこれば這獸子
初か感慨ダニ心ゆり似だ。忽ち一點の慾心を生ムとゆりへらく
天我小寒冷を凌ギと此綿衣を与ヘムトシト不官好衣
二衣三衣とう悦ハ勇ミ樓を下マリと往小門外へぞきり出
池清

繪本西遊記二編卷之八畢

池清

